

ファクト概要

モットー

世界の子ども達に奉仕する

会員

537,830人の成人会員とユース会員

211,256人の成人会員

326,574人のユース会員

クラブ

8,386の成人クラブ

8,268のユースクラブ

専門スタッフ

120

奉仕

- 毎年キワニスのクラブのファミリーは1,900万時間分の奉仕活動を行っています。
- キワニスクラブは成人とユースのリーダーシッププログラムを後援し、152,000件以上のプロジェクトを行っています。
- キワニスクラブは1億3,300万米ドルの資金を調達しています。
- キワニスクラブの各会員は平均で162人の子ども達の生活に影響を与えています。

所在地

85の国と地域

設立

1915年

ウェブサイト

kiwanis.org

注記: 数値は概数のものもあります。

国際キワニス

世界の子ども達に奉仕するこの世界的なボランティア団体は、毎年1億3,300万米ドル以上の資金を調達し、1,900万時間以上にわたり地域社会を強化し、子ども達を支援するための奉仕活動を行っています。奉仕プロジェクトと資金調達イベントを通じて、キワニスの会員は、コミュニティを改善し、生涯にわたる友情を育み、そして最も重要なことである、子ども達が能力を最大限に発揮するための支援を行っています。

成人

国際キワニスでは、キワニス、アクションクラブ、サークルKインターナショナルの3つのクラブを提供しています。キワニスクラブは、毎年152,000以上のサービスプロジェクトを通じて地域に奉仕しています。アクションクラブは、障害を持つ人向けの唯一の地域奉仕クラブで、会員に地域社会に溶け込む機会を提供すると同時に、会員のイニシアチブとリーダーシップ能力の開発を行っています。CKIは世界最大の大学生が率いる奉仕団体で、17の国と地域の大学キャンパスにクラブがあります。

ユース

キワニスには、キー・クラブ、ビルダーズ・クラブ、Kキッズの3つのユース向けのクラブがあります。キー・クラブは、10代の若者向けの、最も長い歴史のある最大の奉仕団体で、他者への奉仕活動を通じてリーダーシップを育成しています。ビルダーズ・クラブは、奉仕活動を通じて10代前半の若者に、リーダーシップ能力を開発し、自尊心を改善し、市民としての社会への関与を増やす機会を与えています。Kキッズは小学生に、奉仕活動を協力して行い、リーダーとしての潜在力を伸ばし、道徳的な人格を形成する機会を与えています。

プログラム

キワニスには、3つの学生向けプログラム、テリフィック・キッズ、ブリング・アップ・グレイズ、キー・リーダーがあります。テリフィック・キッズとブリング・アップ・グレイズはいずれも6～12歳の小・中学生向けで、子ども達に計画する、目標を設定する、他者と協力する、成功を祝うことを教えています。キー・リーダーは10代向けの週末リーダーシップ体験プログラムです。




#KidsNeedKiwaniis





KIWANISのデータ

537,830人の成人およびユース会員

成人クラブ

	会員	クラブ	国/地域	対象
 Kiwanis kiwanis.org	188,954	7,370	85	成人
 AKTION CLUB aktionclub.org	11,226	514	14	障害を持つ成人
 CKI Circle K International circlek.org	11,076	502	17	大学生

ユースクラブ

	会員	クラブ	国/地域	対象
KEY CLUB keyclub.org	251,899	5,281	40	14～18歳の中・高校生
 Builders Club Building Leaders buildersclub.org	38,375	1,535	19	11～14歳の小・中学生
 K-Kids Young Leaders Helping Others k-kids.org	36,300	1,452	26	6～12歳の小学生

子ども基金



資金調達をし、助成金を付与し、そしてリソースをクラブと会員に提供することによって、キワニアンが、地元のコミュニティや世界中の子ども達のニーズを満たせるよう支援します。グローバルなプロジェクトには母親や新生児の破傷風とヨード欠乏症を撲滅して、母親や子どもにより良い未来を提供することが含まれます。

kiwanischildrensfund.org

プログラム



6～12歳の小中学生向け、学業成績と人格形成を表彰するプログラム。kiwaniskids.org

KEY LEADER[®]

14～18歳向け週末リーダーシッププログラム。
key-leader.org



3636 Woodview Trace Indianapolis, IN 46268 USA
米国およびカナダ: 800-KIWANIS (800-549-2647)
国際窓口: +1-317-875-8755 • Fax: +1-317-879-0204

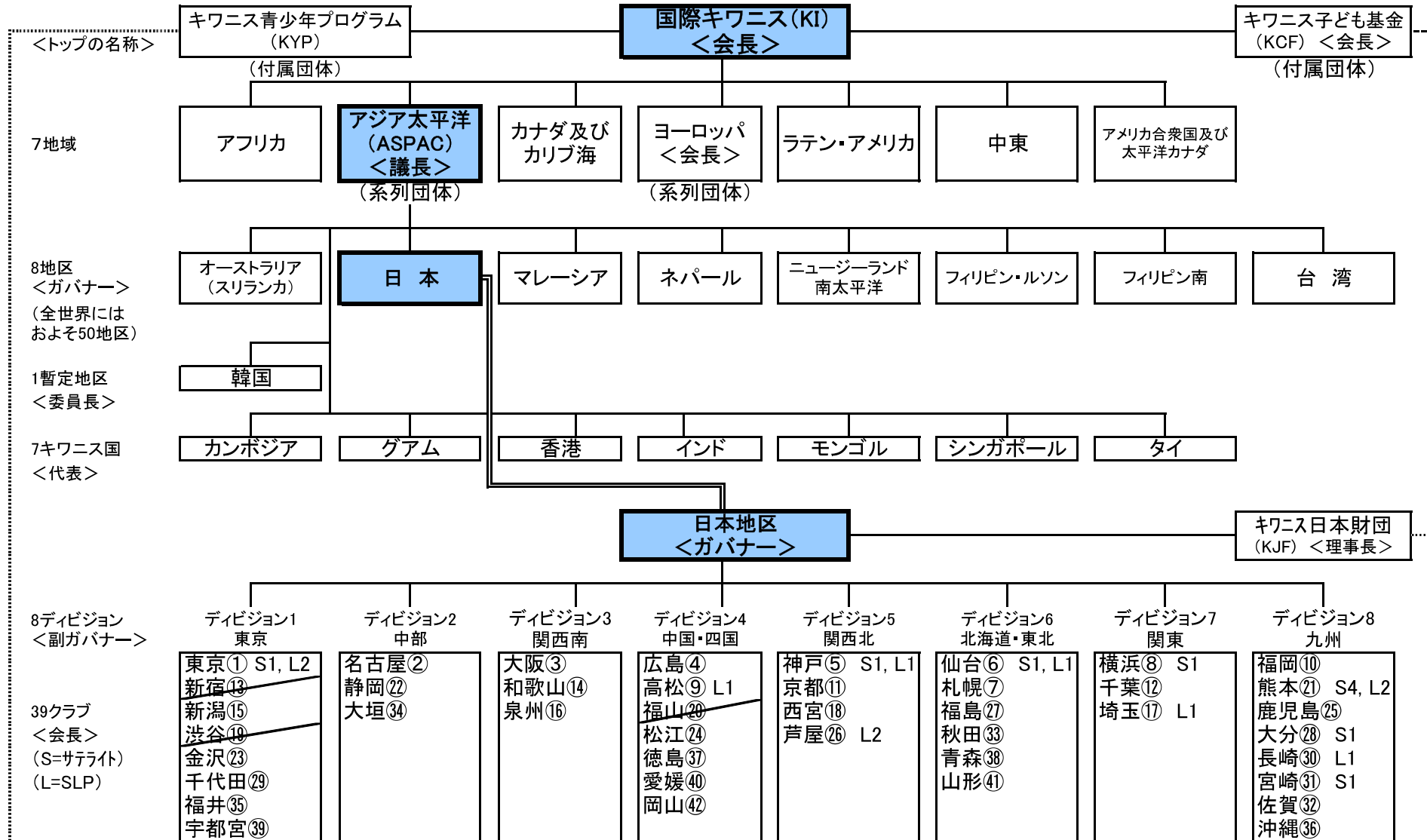
kiwanis.org

数値はすべて2019年12月15日現在のものであり、変更される場合があります。
GMMK-120-002

国際キワニス組織図

(横浜キワニスクラブ原案作成)

2021/11/9現在



サテライト: 既存(ホスト)クラブの会員となる少人数のグループ。別の場所や時間で例会や奉仕活動を行う。

SLP (Service Leadership Programs)(付属団体): 小学生から大学生の各年代のジュニア版キワニスクラブ。キワニスクラブがスポンサーするが、別組織。

国際キワニス 日本地区

2021-2022年度 役員・監事

ガバナー		鹿児島	林 隆秀
次期ガバナー		東京	吉國 眞一
前ガバナー		東京	増田 好平
事務総長兼財務担当		東京	吉村 輝寿
副ガバナー	ディビジョン1 (東京)	東京	寺崎 志野
	ディビジョン2 (中部)	名古屋	徳岡 重信
	ディビジョン3 (関西)	和歌山	坂本 暁史
	ディビジョン4 (中国・四国)	愛媛	木戸 保秀
	ディビジョン5 (関西)	西宮	九鬼 一博
	ディビジョン6 (北海道・東北)	仙台	加藤 博
	ディビジョン7 (関東)	埼玉	山田 祐司
	ディビジョン8 (九州)	大分	淵野 二三世
監事		横浜	平田 克男

2021-2022年度 地区委員長

常任委員長	規約委員長	仙台	小田 忠雄
	地区大会委員長	芦屋	多田 玲子
	財務委員長	東京	林 昭彦
	国際大会委員長	神戸	佐伯 祐季
	リーダーシップ研修委員長	長崎	片山 仁志
	決議委員長	鹿児島	林 隆秀
	奉仕兼YC委員長	名古屋	宮崎 修二
	歴代ガバナー委員長	東京	藤原 武平太
特別委員長	SLP委員長	埼玉	遠藤 浩子
	キワニス子ども基金委員長	東京	吉村 輝寿
	文化委員長	芦屋	古田 義弘
	コネリー賞推薦委員長	芦屋	夏目 徹
キー・ポジション	青少年保護マネージャー	埼玉	遠藤 浩子
	リーダーシップ研修コーディネーター	長崎	片山 仁志
	パートナーシップ・コーディネーター	東京	吉田 浩二
	広報コーディネーター/委員長	埼玉	武井 信子
	メンバーシップ・コーディネーター /成長戦略委員長	熊本	米澤 房朝

各 位 殿

2021年-2022年度

リーダーシップ研修コーディネーター

片山 仁志

国際キワニス ピーター・マンクーツ会長

2021-2022年度ガバナー・ワークブックの要約について

- キワニス研修充実の一環として、ピーター会長から各地区ガバナーに示されたガバナー・ワークブックを、資料に基づき別添のように簡略に要約してみました。国際キワニス会長の抱負は、とても膨大で奥深く、私などには遠く理解が及びませんが、林ガバナーから、「研修の機会拡充」のご指示があり、クラブ運営等においてご参考になればとの思いで整理してみました。もし些かでもお役にたてるようなことがあれば、誠に幸甚に存じます。

- 要約しながら、ピーター会長の脈々と伝わるキワニス・ストーリーは、勝手ながら次のようなものかと思えました。
国際キワニスは、現在、世界で驚くべき活動をしており、さらに将来に向けて持続的に発展しなければならない。そのために、各地区は次のような認識をもち、行動することが不可欠である。
 - (1) 全てのキワニアンが価値を見出し、新たな会員を惹きつける。
 - (2) 既存クラブの保持・クラブ新設等により会員数を増強、財政基盤を固める。
 - (3) 将来を背負う若い層に対する SLP 活動を積極化する。
 - (4) 「有能な変化を起こす」次世代リーダーをしっかりと育成する。
 - (5) 看板プロジェクト等の奉仕活動を通じコミュニティでの存在感を高める。
 - (6) キワニアン自身が効果的な宣伝媒体との自覚をもって広報活動に務める。
 - (7) キワニス子ども基金等との連携を保持する。

以 上

国際キワニス ピーター・マンクーツ会長
2021-2022 年度ガバナー・ハンドブック要約

I. 重点項目 (PRIORITIES FOR 2021-22)

- (1) クラブ経験を改善し、全てのキワニアンが会員であることに価値を見出し、新たな会員を惹きつけるようにする。
- (2) クラブの増強、保持、新クラブ設立により会員数を増やす。
- (3) キワニス青少年プログラム (SLP) を拡大し、世界のより多くの若者に良いインパクトを与え、次世代のリーダーを育成する。
- (4) 現・次期リーダーの成功に向け、研修の機会を提供する。
- (5) キワニス子ども基金を支援する。

II. 戦略計画 (STRATEGIC PLAN)

1. 世界的ネットワーク (GLOBAL NETWORK)

- キワニスの世界的ネットワークは、クラブや会員の存在より大きなものである。学校や病院、政府、非営利団体、企業、財団等との関係を深くし、協力するとき、キワニスは偉大な力を発揮する。そのことは、子ども達を育むより強力な地域を形成することを意味し、世界により大きな影響を与えることになる。
 - (1) モットー (MOTTO)
世界の子ども達に奉仕する。
 - (2) 定義 (DEFINING STATEMENT)
キワニスとは、子ども一人ずつ、地域社会一つずつから着実に始め、遂には世界を改善しようと献身的に活動するボランティア達の国際奉仕団体。
 - (3) 展望 (VISION STATEMENT)
キワニスは世界の地域に良い影響をもたらし、それによりいつの日か、すべての子ども達が目覚める世界が、彼らを信じ、育み、必要な支援を提供するものになるようにする。
- キワニスの戦略計画は、各地区及びクラブがそれぞれの指針を策定し、その上で共通のキワニス目標を達成する、国際キワニスの鍵である。重点的戦略は 5 項目に焦点があたっており (注)、これらは、クラブ、地区、そして国際キワニスが将来にわたり繁栄することにつながるものである。

(注) その中で、会長が強調しておられる「キワニス子ども基金」については、戦略計画とは切り離し最後に掲載した。

2. 5つの戦略計画

(1) 会員と関与 (Membership and Engagement)

- キワニスは、成長する会員ネットワーク「キワニス・メンバーシップ・ネットワーク」を築き、保持し、支援することを目標とする。経験豊富なキワニアンがクラブコーチ、地区メンバーシップ・コーディネーター等に就任し指導的役割を果たす。
戦略としては、会員数の増加（新入会員の育成と既存クラブの保持・増強）、クラブの新設、リーダーの育成、奉仕活動を通じて、地元との関係充実、国際的なパートナーとの強力な関係を構築することが重要である。
- 会員には次のような視点を共有してもらいたい。
 - ① キワニアンの増加は、私達のコミュニティに住む子ども達へのインパクトの強化を意味する（1人の新会員は平均206人の子ども達に奉仕する）。
 - ② 継続的サポート及びメンタリングがキワニスクラブの維持には必要である（開設3年未満のクラブに対するクラブコーチによる継続的な支援）。
 - ③ 世界のコミュニティでキワニスを築くためにはクラブの新設は不可決である（この3年間で、新しいニーズを発見し、1000以上のコミュニティが改善）。

(2) リーダーシップと研修 (Leadership and Education)

- キワニス・ファミリー全域において、「潜在能力のある、有能で思いやりのある」リーダーを育てなければならない。特に地区において、「変化を起こす人」を探してほしい。
キワニスは、現在と未来のリーダーとを繋ぐ強いパイプラインを築き、その使命を果たすことが絶対不可欠である。全組織における将来のリーダーのための道筋をつけ、大規模なリーダーシップ研修を行うべきである。
- 次世代リーダーにふさわしい素養には次のようなものが必要である。
 - ① 組織の使命を信じていること。
 - ② 他人に敬意を払い、他人の意見を尊重できること。
 - ③ 自分達を不利な状況に追い込むかもしれない決断ができること。
 - ④ 身をもって示すことができること。
 - ⑤ 批判するのではなく、行動を教えることができること。
 - ⑥ 目標を決定し、進捗状況を追跡できること。
 - ⑦ チームの一員として協力でき、成果を分かち合えること。

- また地区内の次の役職は3年任期が望ましい
(国際キワニスが直接研修)
 - ① メンバーシップ・コーディネーター
 - ② リスク・マネージャー
 - ③ 青少年保護マネージャー
 - ④ リーダーシップ研修コーディネーター
 - ⑤ パートナーシップ・コーディネーター
 - ⑥ 広報コーディネーター

(3) 地域へのインパクト (Community Impact)

- 世界中のコミュニティで行っている奉仕行動が、キワニスを一番良く表現してくれている。お互いを助け合い、他組織と協力し、子ども達のニーズを特定することで、多くの人の生活が変わり、より強固なコミュニティを作り上げることができる(他者の生活を豊かにする行動は、私達自身の生活を異なった形で豊かにしてくれる)。
- 重要な奉仕活動は、看板プロジェクトである。看板プロジェクトは、地元コミュニティでキワニスの知名度を上げ、プロジェクトへの参加を通して会員とキワニスの絆ができ(「クラブの象徴」でもある)、コミュニティの資産を最大限にすることができる。また、影響力の高いコミュニティ・イベントを通して、会員の参加を促し、会員数の増加が促進される。
 なお、看板プロジェクトは、「メンバーシップ、新しいパートナーシップの構築」、「継続的・定期的」、「広報・ブランド強化」、「コミュニティへの高い影響力」の4つの基準を全て満たさなければならない。
- また、将来に向けてキワニスが発展するため、サービス・リーダーシップ・プログラム、すなわち SLP クラブが極めて重要である。
 最初に設立されたキー・クラブ(1925年、高校生)に続き
国際サークルK(1936年、大学生)、
ビルダーズ・クラブ(11歳~14歳)、
Kキッズ(6歳~12歳)の青少年プログラムを後援し続けている。
 加えて、障害を持つ成人を対象としたアクション・クラブ(1987年)も追加され、
 各地区の委員長、プログラム管理者、安全管理マネージャー、アンバサダー等の指導の下、これらを積極的に育まなければならない。

(4) 広報とイメージ (Branding and Image)

- 全世界でキワニス・イメージとブランドを強化することが重要で、そのために、次のことを重視しなければならない。
 - ① キワニスクラブ、地区、財団、付属団体、系列団体でキワニスブランドを統一すること（現在のキワニス・ファミリーのロゴは kiwanis.org/logos である）。
 - ② ブランドと広報戦略を作成し、会員増強につなげること。
 - ② キワニアン自身が、最も効果的なキワニスの宣伝媒体であり、キワニス・ストーリーをグループの共通の声として共有すること。
- メディアへの広報にあたって留意すべきは、次の諸点である。
 - ① 透明性（責任の所在）
 - ② 情報元（出所）
 - ③ 適時性（十分な説明時間）
 - ④ 論調（キワニスの重厚な歴史を反映、親切・尊敬）
 - ⑤ 影響（広聴、視聴対応多様）

(5) 財政基盤 (Financial Viability)

- 財政を管理し、基盤を固めなければならない。
 - ① 財政運営を簡素化、効率化すること。
 - ② あらゆる運営側面において経費の効率性を改善すること。
 - ③ 現行の会費外収入を拡大し、新たな会費外収入を開拓すること。
 - ④ キワニス子ども基金への寄付を増やすこと。
 - ⑤ 資金運用投資を最大限活用すること。
- 賢い資金投資をし、収益を奉仕活動に変えるチャンスを見出し、資金源とボランティアのリソースを蓄える。その上、効率的な構造を作り、プロセスを簡単かつ対応できる価格に抑えることで、世界の子ども達にさらに奉仕できる能力を開発しなければならない。
- 健全な財務管理の秘訣は次の通りである。
 - ① 明瞭な財政戦略（年会費からの収益等）
 - ② 収益アップ計画（新クラブの開設等）
 - ③ 財務管理システム（会計ソフトウェア等）
 - ④ 適切な内部統制（方針、運営手続等）
 - ⑤ 法律の確認と確実な順守（毎年の確定申告書の確認等）

III. キワニス子ども基金 (KIWANIS CHILDRENS FUND)

- キワニス・ファミリーには、小学生から障害を持つ成人まで、全ての年齢層の会員がいる。その中で、多くのコミュニティが、子ども達のすべてのニーズに応えようと奮闘している。キワニス子ども基金は、キワニスクラブと各地区と協力し、ご寄付を、助成金や奨学金として健康、教育や青少年リーダーシップ開発に焦点を当てた重要なプログラムに提供している。
- 寄付者の寛大な親切な心に感謝することは重要なことで、感謝の意を表する方法は「kiwanischildrensfund.org」で確認してほしい。
- 国際キワニス主導した奉仕プロジェクト（グローバル・サービス・プロジェクト）としては次の代表的な2つがある。
 - ① 妊産婦・新生児破傷風撲滅（エリミネイト・プロジェクト）

2010年から、国際キワニスはユニセフとパートナーを組み、世界の妊産婦・新生児破傷風撲滅の支援をしてきた。エリミネイト・プロジェクトから調達した資金は、何百万人もの命を救い、守る手助けをしている。プロジェクトは、この致死率の高い病気とキワニス・ファミリーの闘いを支え続けている。
 - ② ヨード欠乏症

1994年、国際キワニスとキワニス子ども基金は、ユニセフとチームを組み、ヨード欠乏症（予防可能な精神障害の主要原因）に焦点を当てることとした。現在まで、私達は1億米ドル以上の資金調達の支援をし、何百万人もの子ども達に健康で幸せで充実した生活を送れる機会を提供することに成功した。この活動は今日でも世界で継続されている。

以 上